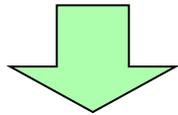


高崎市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年11月～26年3月)

【中心市街地を巡る状況】

- 古くから商都・高崎の中心、内陸交通の拠点として繁栄、今日も県内随一の商業集積と北関東有数の広域交通ターミナル機能を有する
- 戦後、群馬交響楽団が結成された「音楽のある街」として知られており、様々な音楽イベントが開かれている
- 郊外部や近隣市での大規模小売店の相次ぐ出店や経済の長期低迷により、小売業年間商品販売額の減少、空き店舗の増加、歩行者通行量の減少などが顕在化
- JT跡地に医療保健センター・新図書館の建設計画が進められ、市民へのサービス向上に向けた拠点の形成が進む

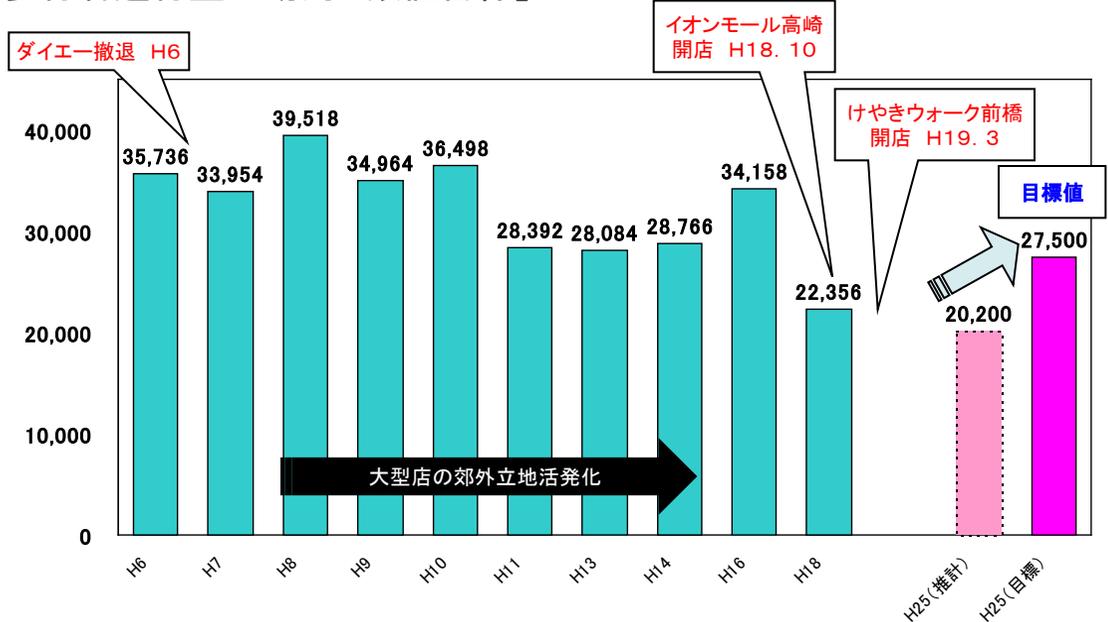


- 小売業年間商品販売額
H9:1,220億円 → H16:1,010億円 (▲17.2%)
- 歩行者通行量
H11:28,392人 → H18:22,356人 (▲21.3%)

【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H25)
高崎都市圏の地域活性化を牽引する、経済活力に満ちたまち	小売業年間商品販売額	970億円 (H19推計)	1,200億円
市民の出会いと交流の舞台となる、賑わいあふれるまち	歩行者・自転車通行量 (休日・6地点)	22,400人 (H18)	27,500人
音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	文化施設利用者数	663,800人／年 (H19)	704,300人／年

【歩行者通行量の動向と数値目標】



※ H16は高崎マーチングフェスティバルの開催等による特異値

高崎駅周辺を商業と交通機能が集積するゾーン、JT跡地周辺を行政・医療・文化施設が集積するゾーンとして核を形成し、2つのゾーンを結ぶ商店街での各種イベントや魅力ある個店により回遊を創出することで、にぎわい再生をめざす。

高崎市中心市街地活性化基本計画の事業概要

ウエストコアゾーンの形成 (行政・文化・医療)

○スズラン新館増床・イベント広場の整備

駅周辺と並ぶ商業拠点機能強化による**集客力のアップ**及びイベント広場を活用した周辺商店街との連携による各種イベントの開催により**商店街への回遊**を図る。



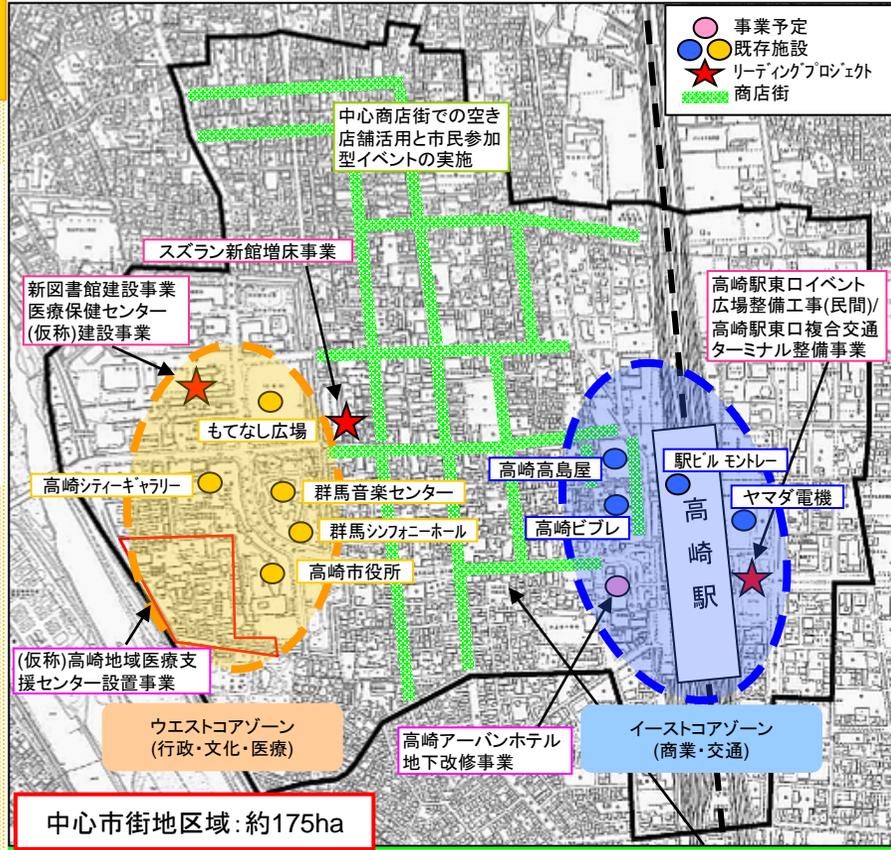
○新図書館・医療保健センターの建設

市民の健康と生命を守る**保健機能**と**医療機能**を備えた施設の整備、乳幼児健診を利用した**ブックスタート事業**、医療保健センター利用者の**読書習慣への接近**、**生涯学習への誘導**など新しい事業を展開。

【新図書館】5階～6階
【医療保健センター】1階～4階

○(仮称)高崎地域医療支援センターの設置

国立高崎病院の建替えに併せ、病棟の一部に市が医療支援センターを設置し、**心療内科**、**形成外科**などの**新設**及び**救命救急医療・救急センター**など諸機能を充実させることにより**地域医療の充実と強化**を図る。



イーストコアゾーンの形成 (商業・交通)

○東口イベント広場、複合交通ターミナル、アーバンモール等の整備

ヤマダ電機の開店にあわせて**イベントが実施**できる東口イベント広場を整備し、駅と周辺施設を結ぶ**ペDESTリアンデッキ**の整備により**安全・快適な歩行者空間**を確保。



○高崎アーバンホテル地下改修事業

NHK文化センターと連携した取組に加えホテルの未利用部分に**高崎経済大学のサテライト教室**、**イベントスペース**などを設置することにより**市民参加型の文化教室の充実**を図る。



音楽文化の創造と市民の交流による賑わいの創出 (2つのコアゾーンをつなぐ商店街の再生)

○既存文化施設を利用した様々な文化イベントの充実と新規イベントを実施

- ・高崎音楽祭・高崎映画祭・群馬交響楽団演奏会
- ・商都フェスティバル・スプリングフェスティバル
- ・ミュージック高崎ジャパン・たかさき春まつりなど



○空き店舗を利用した**チャレンジショップ**や**テナントミックス**、**各種イベント**を実施。

- 地元商業者や住民の主体的参画によるワークショップの設置により、**まちづくり・産業おこし活動**を实践。
- 高崎経済大学と連携した**地域再生**
- ・**まちづくりの専門的人材の育成**、**広報・啓発のためのシンポジウム**の開催。



【地方の元気再生事業】